



2021年5月13日

各位

会社名 サンデンホールディングス株式会社  
代表者 代表取締役 社長執行役員 西勝也  
(コード番号 6444 東証第一部)  
問合せ先 取締役 執行役員 財務経理本部長 秋間 透  
TEL(03)5209-3341

## 連結業績の前年実績値との差異及び営業外収益／営業外費用／特別損失の計上に関するお知らせ

2021年3月期の連結業績の前年実績値との差異及び営業外収益／営業外費用／特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 2021年3月期の連結業績と前期実績値との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値(A)	204,880	△3,401	△9,735	2,287	82.54
当期実績値(B)	137,477	△18,456	△23,237	△45,251	△1,630.38
増減額(B-A)	△67,402	△15,055	△13,502	△47,538	—
増減率(%)	△32.9%	—	—	—	—

### 2. 差異の理由

売上高につきましては、当第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う顧客及び当社工場のシャットダウンによる販売減や、前連結会計年度第3四半期連結会計期間より当社グループの流通システム事業の中核を担っていたサンデン・リテールシステム株式会社が連結対象外となった影響等により減収となりました。

営業利益につきましては、構造改革による効果はあったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う販売減の影響に加え、当第3四半期連結会計期間以降の急激な需要回復に伴う物流費の高騰や部品不足に対応するための空輸費用の見直し等により、前期実績値を下回りました。

経常利益につきましては、営業利益までの影響に加え、産業競争力強化法に基づく特定認証紛争解決手続(以下「事業再生ADR手続」といいます。)等に関連するアドバイザー費用の計上等により、前期実績値を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益までの影響に加え、主に事業再生計画の策定に伴う国内や欧州での固定資産の減損損失等により、前期実績値を下回りました。

### 3. 営業外収益及び営業外費用の計上について

#### 1) 営業外収益(為替差益)の計上

当社及び連結子会社において、外国為替相場の変動に伴い、保有する外貨建資産・負債の為替評価替えにより、2021年3月期の個別財務諸表において、為替差益18億円、連結財務諸表において、為替差益4億円を営業外収益に計上しております。

#### 2) 営業外費用(アドバイザー費用)の計上

事業再生ADR手続き等に関連する費用(FA費用・財務DD費用等を含む)として、個別及び連結財務諸表におい

て、13 億円を営業外費用に計上しております。

3) 営業外費用(貸倒引当金繰入)の計上(個別)

当社の一部の連結子会社に対する貸付金の回収等に懸念が生じたため、2021 年3月期の個別財務諸表において、貸倒引当金繰入額 152億円を営業外費用に計上しております。

4. 特別損失の計上について

1) 特別損失(減損損失)の計上

当社及び連結子会社において固定資産の減損損失等を計上することとなったため、個別財務諸表において 44 億円、連結財務諸表において、192 億円の減損損失を計上しております。

2) 特別損失(関係会社株式評価損)の内容(個別)

当社が保有する関係会社株式のうち、実質価額が取得原価に対して著しく下落した株式について、2021 年3月期の個別財務諸表において、関係会社株式評価損 191 億円を特別損失に計上しております。

3) 特別損失(関係会社事業損失引当金繰入)の計上(個別)

当社の一部の連結子会社に対する損失に備えるため、関係会社に対する出資金額等を超えて当社が負担することが見込まれる金額を、2021 年3月期の個別財務諸表において、関係会社事業損失引当金繰入 42 億円を特別損失に計上しております。

5. 業績に与える影響

現在、上記の連結子会社に対する貸倒引当金繰入、関係会社事業損失引当金繰入及び関係会社株式評価損は、連結財務諸表においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以上